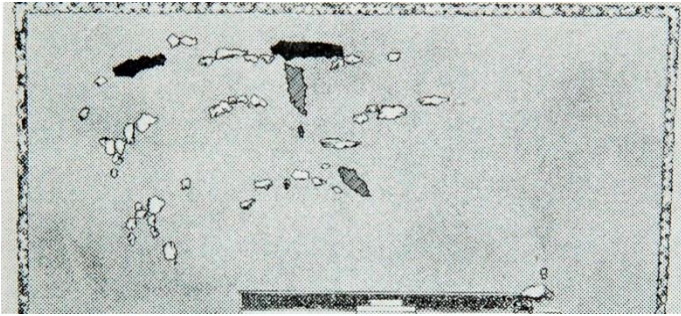


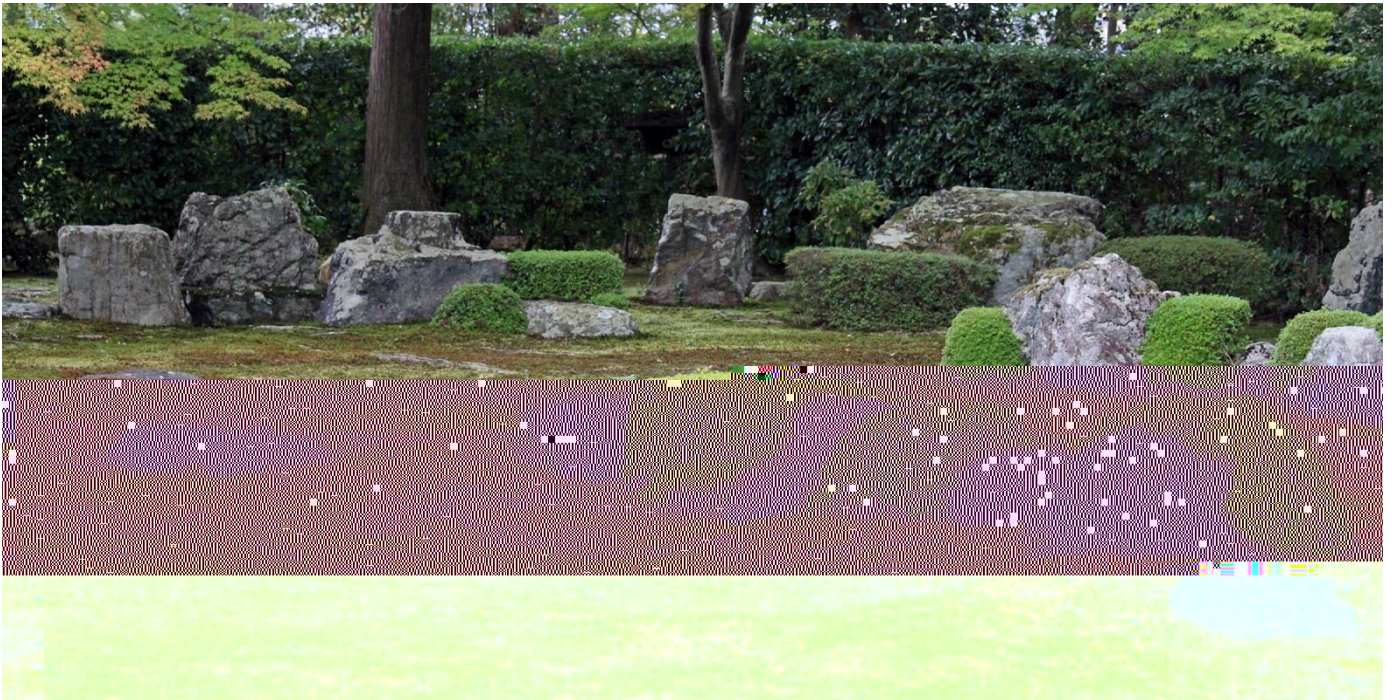
寺 宮

さらに、拾遺都名所絵図によると、



大山平四郎著『龍安寺石庭』 P

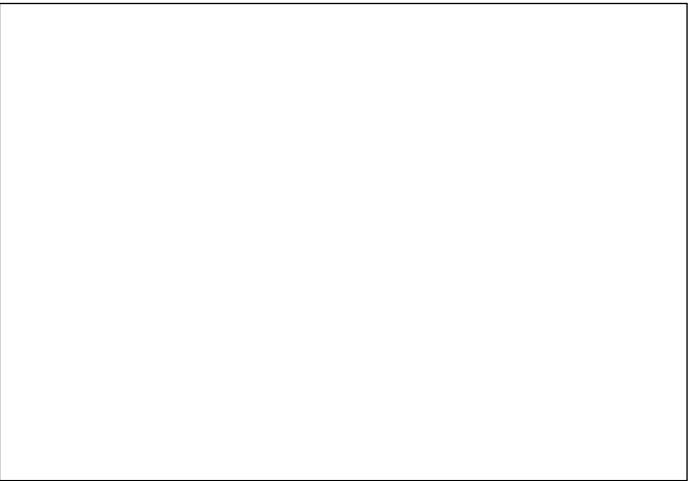
講談社



手前の石は伏石中心であるが、左側と右奥の石は立石が中心の多くの石組である。

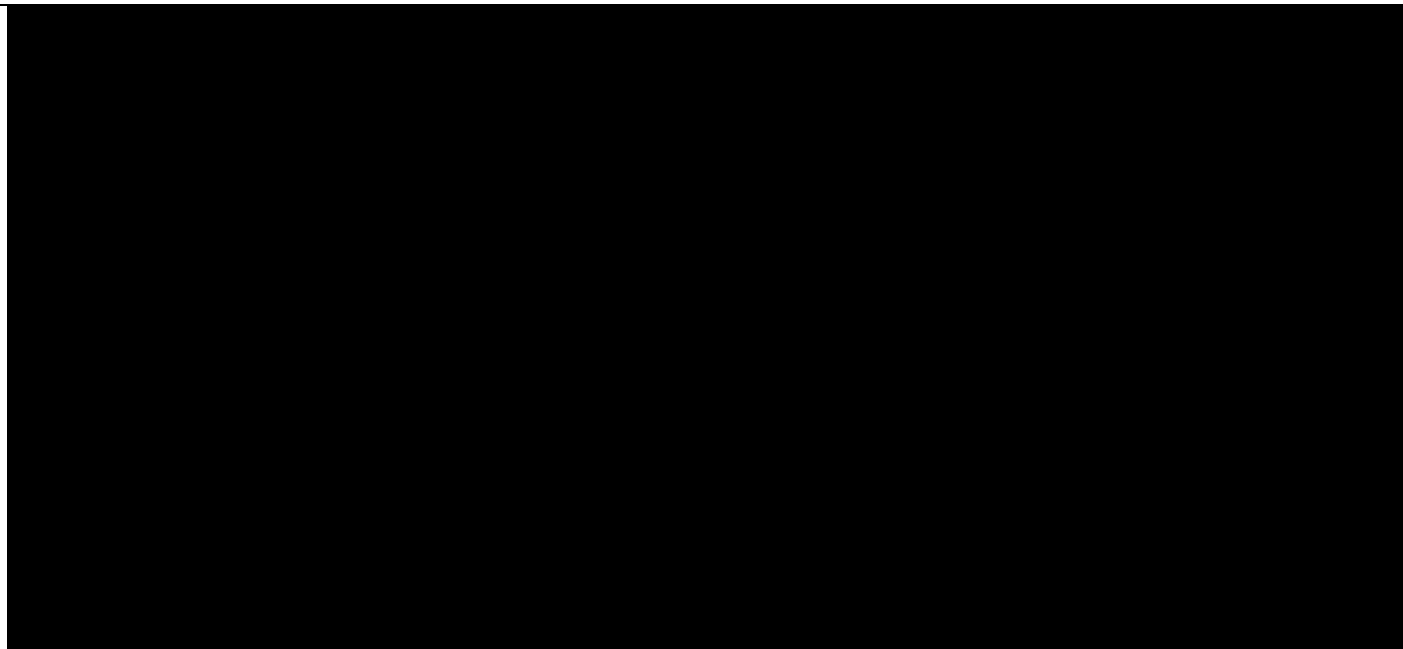


故あって、今は玄関にある



『拾遺都名所絵図』には

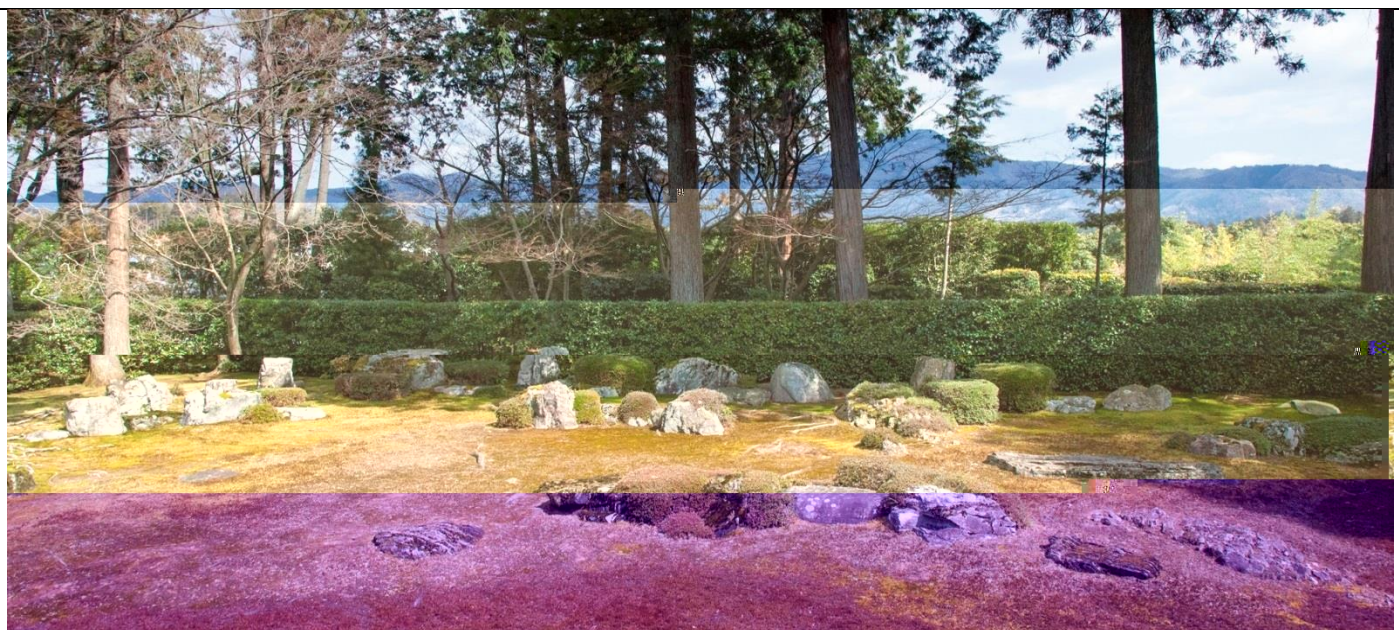




譜叡山が良く見える位置から撮影。しかし石組が添え物のようになってしまう。



石組みを中心に左によって撮ると、新鮮な感覚に襲われる。生垣背後の雑木林を剪定すれば、比叡山も見えてくる。



本堂の中心から撮ると、三波の造形が押し寄せて来るかんじになり、比叡山も十分に鑑賞できる。本来の借景庭園復活。